

あなたの農業経営をサポートします。

アグリいしかり

石狩市農業総合支援センター通信
第14号 2012.12月発行



J Aいしかり青年部が試験栽培でサツマイモに取り組んで2年目。10月10日支援センター試験圃場にて8名が参加して収穫しました。

いしかり塾の紹介
J Aいしかり・北いしかり青年部が実績発表
新・農業人フェア出展

農地利用集積円滑化事業を利用しませんか？

農家のみなさん！農地の利用について、こんな悩みはありませんか？

農地の貸付けの相手先探しをお手伝いします！

白紙委任

※農地の貸付け先の相手を指定できません。

協議・調整

※認定農業者を含む担い手農家の中から、選定します。

石狩市農地
利用集積
円滑化団体
(石狩市)

貸し手 のメリット

- ・貸した農地は、契約満了に伴い戻ってきます。
- ・農地集積協力金が交付されます。

※ただし要件があります。

借り手 のメリット

- ・希望条件に基づいて農用地を斡旋します。
- ・戸別所得補償制度の規模拡大加算が交付されます。

※ただし要件があります。



詳しくは下記の連絡先へお問合せください！

石狩市農地利用集積円滑化団体（石狩市）

事務局：石狩市企画経済部農林水産課

TEL 0133-72-3164

アグリいしかりに関しては
石狩市農業総合支援センター
☎ (0133) 66-3345
<http://www.ishikari-asc.jp/>

いしかり塾の紹介

立ち上げの経緯

農業経験の浅い若手後継者に農業に対する見聞を広げてもらうために「いしかり塾」を通して現場での実習や関係機関の視察等を実施して農業に関する幅広い知識と技術を身につけることを目的としていました。（塾と付いている所以です。）

構成 おおよそ40代迄の農業青年（男女問わず）。

事務局 石狩市農業総合支援センター

運営費 石狩市農業総合支援センター負担金で運営

活動内容の決定 JAいしかり青年部の推薦のもと、五の沢・高岡、北生振、美登位、花畔地区より4名の方を推進員として選び（その後2名が追加）リーダーなる人は置かず、みんな考えていくことを基本としました。

初回の推進員会議で、「同じ石狩でも地区が違えば知らない人も多いので仲間づくりのための活動を行おう」という話が持ち上がり当初の目的を拡大し、交流会（飲み会）、婚活、他の団体との交流を図り石狩農業をPRしようということになりました。現在は食物栄養学科のある天使大学の協力をいただき活動をするようになりました。

今後も、①イベント（石狩産野菜を使った試食会、農業体験受け入れ）の開催、お祭りの参加②交流会による情報交換③婚活等の企画を考えていますのでこれからも厚田、浜益地区の青年も含めて活動に参加してもらえようようお願い致します。

JAいしかり青年部最優秀賞受賞

JA青年部石狩後志合同研修会が11月13日から2日間の日程で札幌市内のホテルで開催され、JA後志地区青協 青年の主張事前発表会、石狩地区JA青年部の活動実績発表大会、分科会、基調講演が行われ、農業に関する知識や交流を深めてきました。

実績発表大会には、JAさっぽろ青年部「大都市札幌での青年部活動」、JA北いしかり青年部西当別プロジェクト森田さんが「仲間と視野を広げ、新たに」、JAいしかり青年部藤山和広さんが「新規農産物栽培試験事業」として3名の発表がありました。

JA北いしかりは地区ブロックの合併、子供農業体験、農協職員との交流会、夏季研修等活動内容の発表、JAいしかりは新作物のサツマイモに着目し新たな地域ブランドにしようと試験栽培、とれのさとでの販売、「石狩紅いもマッコリ」商品化までの道のりを発表しました。

審査の結果、見事JAいしかりが最優秀賞受賞となり12月6日の全道大会へ出場いたします。



最優秀賞受賞 JAいしかり藤山さん



JA北いしかり森田さん

10年第一回交流会



10年意見交換会



10年婚活PR花配布



10年第一回婚活ハスツアー



11年第一回交流会



11年第一回婚活



11年天使大農業青年会



11年天使大長堀収穫作業



11年天使大長試食会



12年第三回交流会



12年婚活事前セミナー講演会



12年まごころフェア出展



新・農業人フェアに出展

北海道農業担い手育成センター主催の農業を志す人を対象にした合同相談・説明会が札幌コンベンションセンターで行われ道内外から100団体が出展しました。当センターから職員2名、アドバイザーとして高岡地区新規参入者伊藤芳昭・良子さん夫妻計4名が出席しました。相談者は札幌市周辺の希望者やミニトマト栽培希望者で30〜50代の会社員、公務員等13組ありました。就農までの研修、自己資金や就農後の地域住民とのコミュニケーションの重要性、奥さんの協力、理解が大事等を説明しました。皆さん各自が持っているイメージと現実のギャップを感じる人が多く、微妙な面持ちで話を聞いていました。会場では景気悪化により農業が雇用の有力な受け皿になると感じている人も多く、新規参入はたいへん厳しい道のりですが、今後もサポートをしていきたいと考えています。



中学生職業体験受け入れ

石狩中学校と花川南中学校の2年生それぞれ7名・10名が、10月15日、18日に総合学習の一環として当センター試験圃場で農業体験しました。

職業体験学習は、働くということを実際の体験を通じて、自分の生き方を考えられる生徒の育成を図ることや、社会人として必要な礼儀や基本的なマナーを身につけることを目標に、市内の多くの事業所で毎年実施されています。

当センターでは、昨年に続き2度目の受け入れですが、技術職員指導のもと、両日とも生徒はハウス内でミニトマトや金時草の収穫、露地での大根・人参・ねぎ・里芋・ヤーコン等の収穫後、トマトやナス・ピーマンの根切り竹の支柱撤去やマルチ剥がしなどの後片づけ作業で汗を流しました。

初めての仕事ばかりで、大変だったようですが、農作業の大変さが分かり、農業に携わっている人への感謝の気持ちを強く持ったようです。

